

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)		令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
子ども青少年 育成部	子ども家庭課	ひとり親家庭等支援事業	27,790	27,790	ファミリー・サポート・センター利 用料の一部を補助	778	778	要求通り	—	1
子ども青少年 育成部	子ども家庭課	SNSやAIを活用したシング ルマザー等就業支援事業	19,615	19,615	SNSやAIを活用した就業相談 から就職・定着までの一貫した 支援を実施	19,615	19,615	要求通り	—	3
子育て支援部	待機児童対策 室	認定こども園等整備事業	692,147	590,897	施設の長寿命化のための施設 整備	101,250	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	6
子育て支援部	待機児童対策 室	認定こども園等の入所申込み に関する問合せ対応に係るAI チャットボット活用	1,900	0	認定こども園等の入所申込み に関する問合せ対応に係るAI チャットボット活用	1,900	0	予算措置なし	事業内容の検討が必要	8

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分		新規・拡充	
一般会計				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				事業番号		014-047	
担当部署名		子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 〜Children's future〜		施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
			有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう		ターゲット	1.2	
			有	取組	ひとり親家庭の経済的安定に向けた支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合				
	有	現状値	堺市：59.5%、政令市：54.5%(2019年度)		目標値	政令市の割合を下回る(2023年)			
2	関連計画			堺市子ども・子育て支援事業計画（「交通遺児手当」はなし）					
3	事業開始年度			昭和 45 年度		点検年度		令和 5 年度	
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			母子及び父子並びに寡婦福祉法、堺市交通遺児手当基金条例、堺市交通遺児手当支給要綱、堺市養育費に関する公正証書等作成促進給付金支給要綱、堺市養育費の保証促進給付金支給要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)				本庁、各区子育て支援課						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)				①交通事故により父母等を失った遺児を養育する者 ②③④ひとり親家庭						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)				①交通事故により父母等を失った遺児を養育する者に交通遺児手当を支給することで、交通遺児の福祉の増進を図る。 ②ひとり親家庭の子どもの貧困対策として養育費の適切な履行確保を図り、子どもの重要な権利を保護することを目的とする。 ③就労や自立に不安を抱えているひとり親家庭の母が自身のキャリアや自己実現について考える契機とし、意識や行動の変容につなげることを目的とする。 ④ひとり親家庭の方がファミリー・サポート・センターを利用した際の利用料の一部を給付することで、子育てと仕事の両立の不安を軽減することを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				①交通事故により父又は母等を失った18歳未満又は18歳になって最初の3月31日をむかえるまでの児童を養育する者に対して、児童一人につき月額8,000円の交通遺児手当を年2回（4月と10月にそれぞれの前月分まで）支給する。 ②養育費の確保に係る公正証書等債務名義を有する証書を作成するひとり親に対し、給付金を支給する。 ③自立したひとり親家庭の母がスピーカーとして経験を話し、参加者の就労や自立に向けての不安解消及び意欲形成を図る。 ④ファミリー・サポート・センターを利用したひとり親家庭に対し、利用料の一部を申請に基づき給付する。（上限あり）						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）										
10	公民連携・協働事業										

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度
	支給人数（養育費確保支援事業）	人	目標値	20	20	20	20
			実績値	14	45		
			達成率	70%	225%		
	当該指標を選定した理由	令和2年度からの新規事業であり、国が推奨する離婚前後の家庭に対する支援施策であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	予算積算時の支払予定者数（先行して実施している他市の実績を参考とした。）						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	相談件数（母子・父子自立支援員）	件	目標値	—	—	—	
			実績値	4,460	4,500		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	ひとり親の就業相談・自立支援の窓口であり、ひとり親世帯の支援に直結する指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	母子及び父子等相談件数（相談件数の増加が目標ではないため、目標値は設定しない）						

令和4年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	ひとり親家庭等支援事業	事業番号	014-047
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	23,121	22,591	23,371	27,990	27,790
	国支出金	143	138	265	1,828	1,037
	府支出金			0		166
	市債					
	その他 (利子、寄附金、繰入金)	331	51	1,831	2,490	2,652
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	22,647	22,402	21,275	23,672	23,935

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	調査員報酬	R3	予算	370	0	委託料 (ひとり親家庭生活支援事業、ひとり親家庭アンケート集計業務、ひとり親世帯交流会事業)	R3	予算	590	296
		R4	予算	0	0		R4	予算	297	149
	その他報償費 (枠)	R3	予算	2,207	17	ファミリー・サポート・センター利用料一部給付	R3	予算	0	0
		R4	予算	2,369	17		R4	予算	778	446
	普通旅費 (枠)	R3	予算	34	0	養育費確保支援事業	R3	予算	2,000	1,000
		R4	予算	0	0		R4	予算	1,330	665
	消耗品費 (枠)・印刷製本費 (枠)	R3	予算	191	93	交通遺児手当基金積立金	R3	予算	300	0
		R4	予算	87	45		R4	予算	300	0
	通信運搬費 (枠)	R3	予算	68	36	その他 (会計年度任用職員報酬等)	R3	予算	22,230	22,230
		R4	予算	35	19		R4	予算	22,594	22,594

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	昭和49年度 交通遺児手当創設。(令和2年度制度改正) 平成20年度 ひとり親家庭等の交流場所を設置。 令和2年度 養育費確保支援事業実施。 令和3年度 全国母子世帯調査の実施(国補助10/10)。就労や自立に向けた意欲喚起のためのシングルマザー交流会を実施。
	R4	ひとり親家庭等の交流場所を廃止。 ファミリー・サポート・センター利用料の一部給付を実施。 その他事業継続
	R5以降	事業効果を検証したうえで、事業の継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	ひとり親家庭等に対する自立支援策として、必要な経費を要求する。 具体的には下記の通り。 ①就労や自立に不安を抱えているシングルマザー自身のキャリアや将来の経済的な自立を考える場を提供するための費用 ②養育費の取り決めから履行確保まで、養育費の確保を支援するための費用 ③交通事故により父母等を失った遺児を養育する者に、交通遺児手当を支給するための費用 ④ファミリー・サポート・センターを利用した際の一部利用料を支給するための費用
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分		新規・拡充	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		SNSやAIを活用したシングルマザー等就業支援事業		事業番号	
担当部署名		子ども青少年 局 子ども青少年育成 部		014-136	
		子ども家庭		課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 〜Children's future〜		施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
			有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合				
		有	現状値	59.5(2019年度)		目標値	全国を下回る(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう		ターゲット	1.2	
			有	取組	ひとり親家庭の経済的安定に向けた支援				
寄与するKPI		有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合					
	有	現状値	堺市：59.5%、政令市：54.5%(2019年度)		目標値	政令市の割合を下回る(2023年)			
2	関連計画			堺市子ども・子育て総合プラン					
3	事業開始年度			令和 4 年度		点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)				本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)				ひとり親家庭等				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)				SNSやAIを活用した就業相談、求人マッチングにより、ひとり親家庭の就職・増収を実現し、ひとり親家庭の経済的自立を支援することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				・就業中のシングルマザー等がスキマ時間を活用できたり、窓口まで相談に行くことに心理的・物理的ハードルがある方でも相談しやすいように、SNS等を活用して「就業相談」から「適性診断」、「AI求人マッチング」、「定着支援」までの一貫した就業支援を実施。 ・AIによる求人マッチングを導入することで、従来の、勤務条件（場所や時間等）を重視した求人探しではなく、事業者の職場風土や求める人物像と求職者のパーソナルな部分やシングルマザーとしての特性等を踏まえたマッチングを行う。シングルマザーの雇用に理解がある雇用先を開拓し、AIマッチングにより就職先の選択肢を広げ、収入増や定着につながる就業の実現を支援する。				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）				SNSやAIを活用した就業支援受託事業者（公募プロポーザルにより決定）				
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
AIマッチング件数	人	目標値	-	-	20		100	
		実績値	-	-				
		達成率	-	-				
当該指標を選定した理由		KPI達成のためには、就職・増収のためのマッチングが重要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		令和5年度以降、登録者数の1割のマッチングを目標とする。（令和4年度は開発に時間を要するため）						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	登録者数	人	目標値	-	-			1,000
			実績値	-	-			
			達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		SNSやAIによるマッチングを行うためには、登録者数を増やす必要があるため						
目標値の設定根拠・算出方法		堺市の児童扶養手当受給世帯のうち約1/7の登録を目標とする。						

令和4年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	SNSやAIを活用したシングルマザー等就業支援事業	事業番号	014-136
-------	---------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財源内訳	事業費（a）	0	0	0	0	19,615
	国支出金					19,615
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源					

事業費の内訳

（単位：千円）

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事業費内訳	報酬（附属機関委員報酬）	R4	予算	82	0	SNSやAIを活用した就業支援委託料	R4	予算	180,000	0
		R3	予算	0	0		R3	予算		
	消耗品（枠）	R4	予算	50	0		R4	予算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		
	印刷製本費（枠）	R4	予算	204	0		R4	予算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		
	通信運搬費（枠）	R4	予算	799	0		R4	予算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		
	通信運搬費（IT経費）（枠）	R4	予算	480	0		R4	予算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	
	R4	・SNS等を活用した就業相談運用開始。 ・AI求人マッチング開始。
	R5以降	・令和4年度の効果検証しながら事業継続。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・本事業は、ひとり親家庭の経済的自立を推進することを目的とした就業支援事業である。 ・本事業と対面によるきめ細かな対応を行う窓口相談が相互に補完する形で、状況に応じた利用しやすく効果的な就業支援を実施し、基本計画KPI達成に取り組む。 ・国庫補助10/10を活用し、令和4年度中にSNS相談や求人マッチングを行うAI機能の開発等に必要な経費を要求する。 ・なお、ひとり親家庭に対するSNS等を活用した就業支援（SNS相談、チャットボット相談）は他市事例があるが、AIマッチングを導入している事例はなく、全国初の取組である。
----	---------	--

SNSやAIを活用したシングルマザー等就業支援事業（新規）

○就業中のシングルマザーがスキマ時間を活用できたり、心理的に窓口では相談しづらい方でも相談しやすいよう、**SNS等を活用した就業支援を実施。相談から、適性診断、求人マッチング、定着支援までを一貫して対応。**
○従来の対面相談とSNS相談を組み合わせることで、様々な状況にあるシングルマザー等に応じた利用しやすい相談支援体制を構築し、具体的な就業支援へのアクセス向上を図る。

【想定する機能】

- ・SNSによるキャリア相談
- ・AIによる求人マッチング

シングルマザーは忙しい！

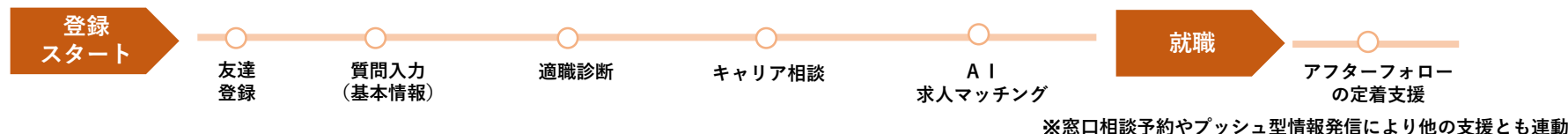
※ひとり親（母）の就業状況 R3堺市調査

スキマ時間の活用
ニーズの顕在化

就業中 87.1%		
正規	非正規 54.6%	他

→従来の勤務条件（場所・時間等）でのマッチングでなく、登録事業者の職場風土や求める人材等と、求職者のパーソナリティやシングルマザーとしての特性を踏まえた相性をAIで診断・マッチング。就職先の選択肢を広げ、収入増や定着に繋がる就業の実現へ。

- ・SNSによる就職後のアフターフォロー（定着支援）
- ・他の窓口相談の予約やプッシュ型情報発信機能 等
- ・経費 システム構築及び運営委託 19,615千円（国10/10 ひとり親家庭等相談支援体制強化事業）



それぞれの状況に応じた利用しやすい相談支援体制を構築し、それぞれに寄り添った自立支援を実施

相談窓口	対応内容	場所・時間	特質	利用者の状況に応じて相互に案内・補完関係
区子育て支援課 （母子・父子自立支援員）	ひとり親家庭の相談全般（離婚後の不安、生活、就業、子どもの養育等）及び各種支援の利用申請	各区役所 平日：9時～16時	身近な窓口として相談全般に対応	
母子家庭等就業・自立支援センター （委託）	就業相談、職業紹介、講習会申込、プログラム策定、家庭相談（育児、家事、健康管理等）、法律相談・FP相談の受付	堺市福社会館 平日：9時～17時 夜間（月1）・休日（月2）	主に就業支援	
SNS就業支援 （委託） ※本事業	就業相談、求人紹介、アフターフォロー、プッシュ型情報提供、窓口相談の予約	平日（日中・夜間） 休日	スキマ時間にワンストップの就業支援	

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	A 一般事務事業
一般会計	事務事業名	認定こども園等整備事業		事業番号	014-077
	担当部署名	子ども青少年局	局	子育て支援部	部
					待機児童対策室
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援				
		寄与する KPI	有・無	指標名	保育所等待機児童数				
			有	現状値	11人(2020年度)		目標値	0人(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.2	
			有	取組	幼児教育・保育施設の待機児童解消に向けた受入枠の確保				
		寄与する KPI	有・無	指標名					
			無	現状値	#N/A		目標値	#N/A	
2	関連計画		堺市子ども・子育て総合プラン（第2期堺市子ども・子育て支援事業計画）						
3	事業開始年度		平成 24 年度			終了（予定）年度		令和 - 年度	
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）		・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律 ・児童福祉法						

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）		本庁					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）		認定こども園や保育所を整備する社会福祉法人又は学校法人（令和2年度補助事業者数：14）					
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）		認定こども園や保育所を整備し、保育所等利用待機児童の解消を促進する。					
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		認定こども園等の本園や分園を創設する事業者、幼稚園から移行する事業者、既存施設の増築や大規模修繕を行う事業者などに対して、施設整備に要する費用の一部を補助する。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		認定こども園や保育所を整備する社会福祉法人又は学校法人					
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定) 年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	—
待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	11	0		
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		
当該指標を選定した理由	待機児童の解消を目的として当該事業を実施しているため。 なお、令和3年4月1日時点の待機児童数は本市初の0人となった。					
目標値の設定根拠・算出方法	保育所等未利用者から特定保育所等への入所を希望している者などを除外					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
受入れ枠の増	人	目標値	1,031	570	290	
		実績値	812	432		
		達成率	79%	76%		
当該指標を選定した理由	受入れ枠の増により、待機児童の解消を図るため。 なお、令和3年4月1日時点の待機児童数は本市初の0人となった。					
目標値の設定根拠・算出方法	当該事業により増となった定員数の実績値					

令和4年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	認定こども園等整備事業	事業番号	014-077
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費（a）	564,756	1,253,936	1,597,118	1,067,697	692,147
	国支出金	96,055	140,996	1,083,915	921,120	129,331
	府支出金	279,468	956,070	325,386		458,968
	市債	149,400	122,900	147,600	112,700	78,900
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	39,833	33,970	40,217	33,877	24,948

事業費の内訳

（単位：千円）

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
14 事 業 費 内 訳	堺市保育所等整備費補助金	R3	予算	1,067,697	33,877		R3	予算		
		R4	予算	145,497	3,266		R4	予算		
	堺市民間保育所等緊急整備費補助金	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	541,650	16,682		R4	予算		
	固定資産税等相当額補助金	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	5,000	5,000		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R4～R5	要求額	440,400
----	----	-------	-----	---------

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	新設4か所、民営化1か所、増築1か所。
	R4	分園新設 1 か所、定員増を伴わない大規模修繕に対する補助を行う。
	R5以降	保育需要を勘案しながら事業を実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・定員の拡大のため、分園新設 1 か所の整備に要する経費を要求する。 ・施設の長寿命化の観点から、定員の増を伴わない大規模修繕に要する経費を要求する。 ・整備促進のため、認定こども園用地として土地を貸し出した所有者に対し、当該土地に課せられる固定資産税等の一部を補助するのに必要な経費を要求する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	新規・拡充
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	認定こども園等の入所申込みに関する問合せ対応に係るAIチャットボット活用			事業番号	014-137
担当部署名	子ども青少年局	局	子育て支援部	部	待機児童対策室
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上		
			有	取組の方向性	①行政のデジタル化の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	行政手続きのオンライン化率					
			有	現状値	58.1(2019年度)			目標値	100%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール				ターゲット		
			無	取組						
		寄与 する KPI	有・無	指標名						
			無	現状値	#N/A			目標値	#N/A	

2	関連計画										
3	事業開始年度			令和 4 年度			終了（予定）年度		令和 ～ 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)										

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）			本庁					
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）			認定こども園等の入所申込みを検討している保護者					
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）			認定こども園等の入所申込みに関する問合せ対応業務のICT化や、さらなる保護者満足度向上（24時間365日対応可）					
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			・認定こども園等の入所申込みに関する問い合わせ対応に、コールセンターに代わり、AIチャットボットを導入する。 ・24時間365日の対応が可能である（保護者満足度の向上）。 ・コールセンターよりも安価である（経費が2,976千円から1,900千円に削減される。）。 ・人材派遣職員の研修や人材派遣が回答しなかった質問への対応を行っていた正規職員（幼保推進課、待機児童対策室正規職員）の事務手間をなくすることができる。 令和4年3月 業者募集 令和4年4月 業者選定 令和4年5月 契約、システム構築 令和4年9月～11月 AIチャットボット運用					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			業務委託事業者					
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定) 年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	～
11 AIチャットボット対応件数	件	目標値	0	0	1,000	0
		実績値	0	0		
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		
	当該指標を選定した理由		保護者満足度の向上を事業の目的としているため。			
目標値の設定根拠・算出方法		現コールセンターの実績約1,000件				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
12 AIチャットボットの利用者数	人	目標値	0	0	1,000	
		実績値	0	0		
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		
	当該指標を選定した理由		事業の周知等を行い、保護者がAIチャットボットを利用する機会を増やす。			
目標値の設定根拠・算出方法		現コールセンターの実績約1,000件				

令和4年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	認定こども園等の入所申込みに関する問合せ対応に係るAIチャットボット活用	事業番号	014-137
-------	--------------------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13	事業費 (a)	0	0	0	0	1,900
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源					1,900

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	業務委託料	R4	予算	1,900	1,900		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間		要求額	
----	----	--	-----	--

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	コールセンター（人材派遣）による問合せ対応
	R4	A I チャットボットによる問合せ対応
	R5以降	継続して事業を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	保護者の利便性向上と業務のICT化の観点から、A I チャットボットの導入及び運用に係る費用を要求する。
----	---------	--